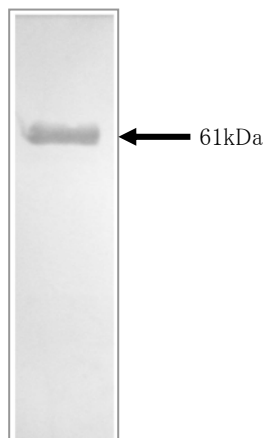


抗ニワトリ Adenosine deaminase 2 ポリクローナル抗体

Adenosine deaminase(ADA)はプリン代謝酵素で、2種類のアイソザイム(ADA1、ADA2)が存在しています。しかし、両アイソザイムが存在するのは哺乳類ではヒトと有袋類のみで、他は鳥類などだけです。ヒトにおいて、赤血球中で ADA1 活性が低下すると、重篤な複合免疫不全の原因になります(ADA 欠損症)。一方、ADA2 はヒト血漿中 ADA の 70% を占め、慢性肝炎や肝硬変などでは血漿中 ADA2 活性が上昇することが明らかとなっています。

本抗体は、ニワトリ ADA2 の部分ペプチドを抗原として作製しました。ウエスタンブロッティングに使用可能です。

容量	25 μ g (100 μ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	-20 $^{\circ}$ C以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4 $^{\circ}$ Cで保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ニワトリ ADA2 の部分ペプチドを免疫して得られたウサギの抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	ウエスタンブロッティング:5 μ g/mL



ウエスタンブロッティング

Sample : ニワトリ肝臓より精製した ADA2

提供 : 北海道薬科大学
病態生化学研究室
渡辺 泰裕 先生
江川 祥子 先生

抗ニワトリ Adenosine deaminase 2 ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Kobayashi F. et al. : Am J Gastroenterol. 1993 Feb;88(2):266-71
2. Iwaki-Egawa S. et al. : Comp Biochem Physiol. Part B 2004 Feb;137(2):247-54

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp